

第140期

報 告 書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで



株式会社 **ニッカトー**

証券コード：5367

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素は格別のご支援をたまわり厚くお礼を申し上げます。

ここに当社第140期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）報告書をお届けするにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当期におけるわが国の経済は、一昨年9月に米国に発しました所謂「リーマンショック」の影響が、瞬く間に世界中に及ぶ中、特に輸出に依存をしてきましたメーカーを中心に大きな落ち込みとなり、年明けから期の前半にかけては休業を含む生産調整が相次ぎました。漸く期の後半からは、いち速く上昇に転じた中国を筆頭とする新興国向けに多少回復の兆しは見えてまいりましたが、国内はデフレ状態から脱却できず、消費の不振も続いております。

このような状況の中で当社グループは、全社をあげての経費削減は勿論のこと、数少ない好況業種へのアプローチを積極的に行いましたものの、「ITバブル崩壊」以来の大幅な減収、減益となりました。

この結果、受注面では前期比9.0%減の6,147,706千円、売上高は前期比17.5%減収の6,018,543千円となりました。

事業別では、セラミックス事業は、期の後半になり主力客先の電子部品業界からの注文が回復傾向となりましたものの、通期では売上高は前期比15.8%減収の4,381,853千円となりました。

なお、市場別による分類では、電子部品向けが構成比率55.6%と半分以上を占め、化学・窯業・鉄鋼向けが18.0%、環境・エネルギー向けが6.1%となりました。

次にエンジニアリング事業につきましては、こちらは期を通して企業の新規設備投資が殆どなかったことの影響を受け、売上高は前期比21.8%減収の1,636,689千円となりました。

なお、市場別による分類では、電子部品向けが29.0%でトップとなり、次いで環境・エネルギー向けが27.3%、半導体向けが14.0%、化学・窯業・鉄鋼向け10.2%となり、全体の金額は減ってもこの4市場向けで全体の80%以上となっております。

損益面につきましては、売上高の大幅な減少に加え、新規設備の減価償却費が増加したことなどから、売上原価率が前期比3.6%さらに増加し、販売管理費では、総額も比率も前年を下まわりましたが、営業利益は前期比54.0%減益の232,099千円となりました。

経常利益は、営業外収益で助成金収入（中小企業雇用安定助成金）41,781千円がありましたものの、これも前期比40.0%減益の323,477千円となりました。

当期純利益は、製造グループの設備移転費用42,936千円などもあり145,087千円となりました。

当期の配当金につきましては、以上の経過ではございますが、期末配当は予定通り1株につき5円といたし、中間配当と合わせまして年10円とさせていただきます。

今後の経済見通しにつきましては、国内の経済指標も大分明るさも見えてまいりましたが、この先、好況業種でも企業の優勝劣敗は益々激しさを増していくものと思われまます。

このような状況下で、当社グループは、全社をあげての合理化を推し進めると共に、新製品、新商品の開発にも力を注いでいく所存でございます。

第141期の業績見通しにつきましては、以上のことなどから売上高72億円（前期比19.6%増）、経常利益7億円（前期比116.4%増）、当期純利益4億円（前期比175.7%増）を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻をたまわりますようお願い申し上げます。

取締役社長

西村 隆



経営方針

経営の基本方針

当社は、「経営理念」に基づき、創造性に富んだ信頼される商品の提供を通じて、科学技術と産業の発展に寄与し、企業の成長と発展を期し、親しまれる経営で社会に貢献することを基本としています。

独自技術を磨き時代に即応した商品を環境保全に努めて生産の効率化を図り、適正な価格で販売して、株主各位、顧客、従業員並びに地域社会に貢献してまいります。

さらに、企業基盤の強化と業績の向上を図り企業価値を高めることに最善を尽くしますとともに、スピーディな経営情報の開示に努めてまいります。

利益配分に関する基本方針

当社は、経営資源の効率的な運用を行って企業基盤と財務体質の強化を図り、株主各位に中期的な配当の維持に努め、適正な利益還元を行うことを基本としています。

利益配当につきましては、上記観点から配当性向は20~40%を目安として配当金を決定し、株主各位のご期待に沿うように努めてまいります。

中長期的な経営戦略

当社は、得意とする特定分野のセラミックス並びに計測機器と加熱装置のリーディングカンパニーを目指しております。

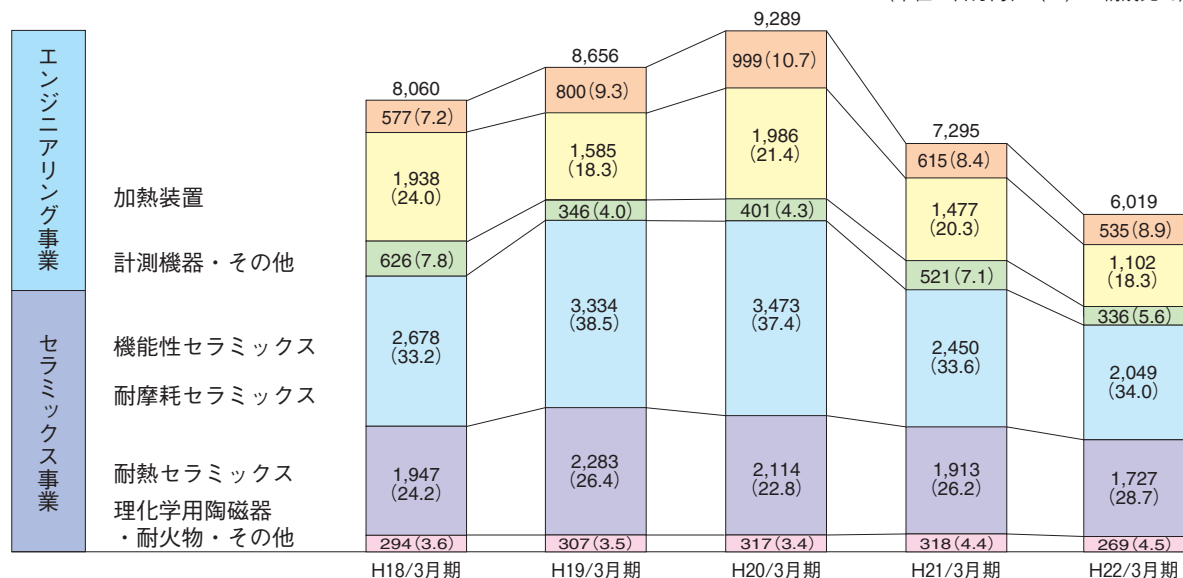
当社の中期的な経営戦略は、毎年見直しを行っております、向こう3年間の「中期計画」に基づいて進めてまいります。

その重点課題は次のとおりであります。

- ① 環境・省エネ用セラミックス並びに耐摩耗セラミックスにおけるジルコニアボールと粉砕機用部材の生産能力増強。
- ② 温室効果ガス排出量の削減等エネルギーの効率的利用と生産改革による生産合理化の推進。
- ③ マーケットニーズに対応したセラミックス新製品およびエンジニアリング新商品の開発と拡販。
- ④ 内部統制システムの構築に基づくリスク管理の強化や内部監査の充実によるさらなる内部管理体制の整備。

事業別売上高・構成比

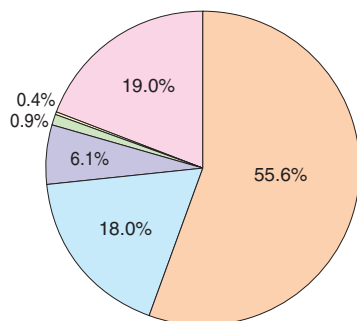
(単位：百万円、()は構成比%)



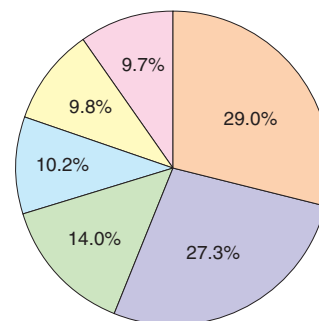
(注) 当社は第139期より連結計算書類を作成しております。第138期までは単体業績の数値を掲載しております。

市場別構成比 (H22/3月期)

セラミックス事業

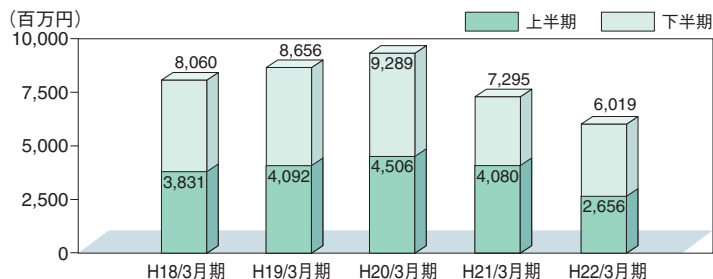


エンジニアリング事業

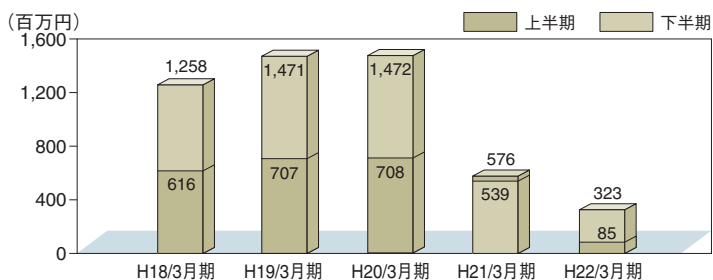


業績の推移

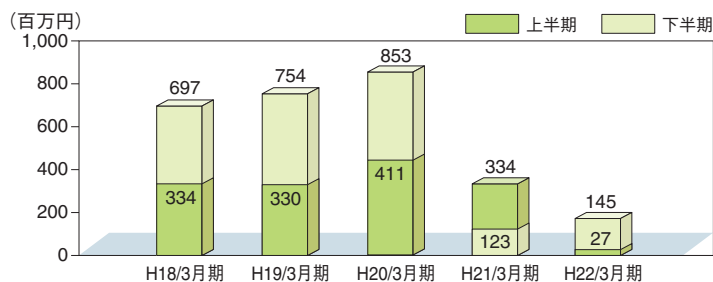
売上高



経常利益

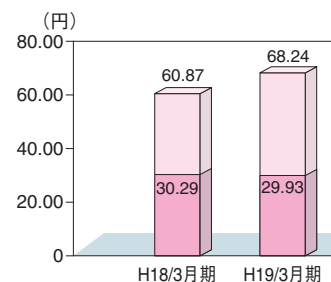


当期純利益



| 項目 | 平成18年3月期 第136期 | 平成19年3月期 第137期 |
|---------------|-------------------|-------------------|
| 受注高(千円) | 8,259,998 | 9,317,021 |
| 売上高(千円) | 8,060,087 | 8,656,041 |
| 経常利益(千円) | 1,258,015 | 1,470,560 |
| 当期純利益(千円) | 697,198 | 753,542 |
| 1株当たり当期純利益(円) | 60.87 | 68.24 |
| 純資産(千円) | 6,122,593 | 6,850,084 |
| 総資産(千円) | 8,882,111 | 10,297,665 |
| 総資産経常利益率(%) | 15.5 | 15.3 |
| 自己資本当期純利益率(%) | 12.5 | 11.6 |
| 売上高営業利益率(%) | 15.5 | 17.2 |

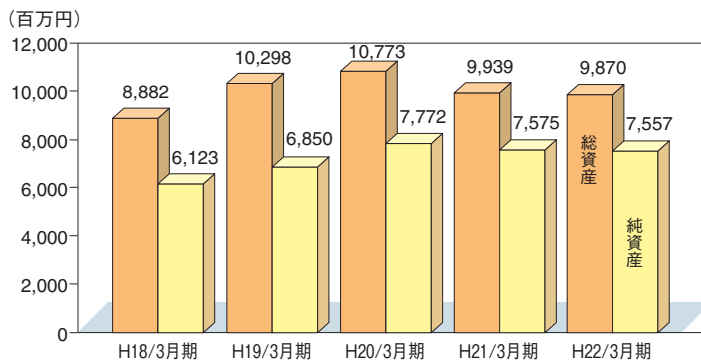
1株当たり当期純利益



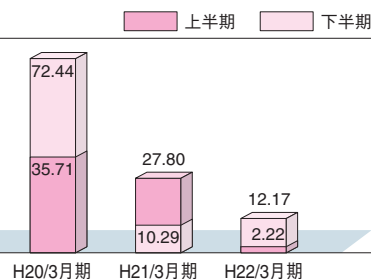
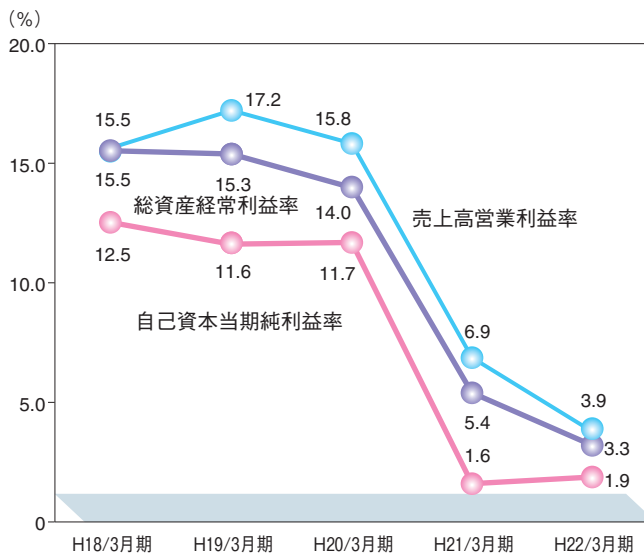
(注) 当社は第139期より連結計算書類を作成しております。第138期までは単体業績の数値を掲載しております。

● 総資産・純資産

| 平成20年3月期 第138期 | 平成21年3月期 第139期 | 平成22年3月期 第140期 |
|-------------------|-------------------|-------------------|
| 8,767,742 | 6,753,951 | 6,147,706 |
| 9,289,061 | 7,294,505 | 6,018,543 |
| 1,472,097 | 538,885 | 323,477 |
| 852,937 | 123,290 | 145,087 |
| 72.44 | 10.29 | 12.17 |
| 7,771,823 | 7,574,753 | 7,556,878 |
| 10,773,444 | 9,938,587 | 9,870,286 |
| 14.0 | 5.4 | 3.3 |
| 11.7 | 1.6 | 1.9 |
| 15.8 | 6.9 | 3.9 |



● 自己資本当期純利益率、総資産経常利益率、売上高営業利益率



連結貸借対照表

| 資 産 の 部 | | | |
|----------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 期 別 | 第140期 | 第139期 | 第138期 |
| 科 目 | (平成22年3月31日現在) | (平成21年3月31日現在) | (平成20年3月31日現在) |
| 流 動 資 産 | 5,415,465 | 5,582,438 | 6,658,457 |
| 現 金 預 金 | 1,730,578 | 1,733,105 | 1,718,171 |
| 受 取 手 形 | 779,869 | 756,868 | 1,147,139 |
| 売 掛 金 | 1,420,547 | 1,297,165 | 2,299,499 |
| 有 価 証 券 | 30,533 | 30,494 | 30,373 |
| 商 品 ・ 製 品 | 583,311 | 604,901 | 608,077 |
| その他のたな卸資産 | 711,592 | 775,273 | 713,164 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 81,078 | 50,118 | 129,937 |
| そ の 他 | 81,952 | 337,912 | 18,654 |
| 貸 倒 引 当 金 | △ 3,999 | △ 3,400 | △ 6,560 |
| 固 定 資 産 | 4,454,821 | 4,356,149 | 4,114,986 |
| 有 形 固 定 資 産 | 3,322,484 | 3,213,364 | 2,783,304 |
| 建 物 | 1,722,900 | 1,235,029 | 1,319,781 |
| 機 械 装 置 | 1,196,842 | 945,347 | 1,089,179 |
| 土 地 | 205,031 | 205,031 | 181,731 |
| そ の 他 | 197,709 | 827,955 | 192,612 |
| 無 形 固 定 資 産 | 23,078 | 28,382 | 6,396 |
| 投 資 其 他 の 資 産 | 1,109,258 | 1,114,401 | 1,325,285 |
| 投 資 有 価 証 券 | 860,803 | 765,228 | 964,234 |
| 事 業 保 険 掛 金 | 23,714 | 21,773 | 36,046 |
| 破 産 更 生 債 権 等 | — | 34,518 | 34,518 |
| 繰 延 税 金 資 産 | 56,250 | 150,241 | 251,904 |
| そ の 他 | 168,489 | 177,158 | 73,101 |
| 貸 倒 引 当 金 | — | △34,518 | △34,518 |
| 資 産 合 計 | 9,870,286 | 9,938,587 | 10,773,444 |

(注) 前連結会計年度は連結初年度にあたるため、第138期の実績は、参考情報といたしまして株式会社ニッカトーの個別実績を掲載しております。

(単位：千円未満切り捨て)

| 負債の部 | | | |
|-------------------|-------------------------|-------------------------|-------------------------|
| 期別 | 第140期 (平成22年3月31日現在) | 第139期 (平成21年3月31日現在) | 第138期 (平成20年3月31日現在) |
| 科目 | | | |
| 流動負債 | 1,974,189 | 1,991,446 | 2,504,196 |
| 支払手形 | 54,702 | 60,258 | — |
| 買掛金 | 830,475 | 660,702 | 1,094,510 |
| 短期借入金 | 402,000 | 402,000 | 400,000 |
| 1年以内返済予定の長期借入金 | 168,512 | 117,352 | 117,464 |
| 未払消費税等 | — | 1,714 | 59,343 |
| 未払法人税等 | 103,340 | — | 313,923 |
| 賞与引当金 | 172,500 | 166,000 | 256,000 |
| その他の | 242,658 | 583,419 | 262,954 |
| 固定負債 | 339,219 | 372,387 | 497,424 |
| 長期借入金 | 124,012 | 144,014 | 16,696 |
| 退職給付引当金 | 41,846 | 33,044 | 293,398 |
| 役員退職慰労引当金 | 105,208 | 127,312 | 118,518 |
| 預り保証金 | 68,152 | 68,016 | 68,812 |
| 負債合計 | 2,313,408 | 2,363,833 | 3,001,620 |
| 純資産の部 | | | |
| 株主資本 | 7,654,293 | 7,688,330 | 7,883,784 |
| 資本金 | 1,320,740 | 1,320,740 | 1,320,740 |
| 資本剰余金 | 1,221,859 | 1,221,859 | 1,221,859 |
| 資本準備金 | 1,088,420 | 1,088,420 | 1,088,420 |
| その他資本剰余金 | 133,438 | 133,438 | 133,438 |
| 利益剰余金 | 5,203,235 | 5,237,026 | 5,371,026 |
| 利益準備金 | 206,240 | 206,240 | 205,810 |
| その他利益剰余金 | 4,996,995 | 5,030,786 | 5,165,216 |
| 別途積立金 | 4,600,100 | 4,900,100 | 4,200,000 |
| 繰越利益剰余金 | 396,895 | 130,686 | 965,216 |
| 自己株式 | △ 91,541 | △ 91,296 | △ 29,842 |
| 評価・換算差額等 | △ 97,415 | △ 113,576 | △ 111,960 |
| その他有価証券評価差額金 | △ 97,415 | △ 113,576 | △ 111,960 |
| 純資産合計 | 7,556,878 | 7,574,753 | 7,771,823 |
| 負債および純資産合計 | 9,870,286 | 9,938,587 | 10,773,444 |

連結損益計算書

(単位：千円未満切り捨て)

| 科目 \ 期別 | 第140期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで) | 第139期 (平成20年4月1日から 平成21年3月31日まで) | 第138期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで) |
|---------------|--|--|--|
| 売上高 | 6,018,543 | 7,294,505 | 9,289,061 |
| 売上原価 | 4,695,593 | 5,430,281 | 6,636,766 |
| 売上総利益 | 1,322,950 | 1,864,223 | 2,652,294 |
| 販売費および一般管理費 | 1,090,851 | 1,359,948 | 1,185,594 |
| 営業利益 | 232,099 | 504,275 | 1,466,700 |
| 営業外収益 | 109,432 | 54,296 | 42,492 |
| 営業外費用 | 18,054 | 19,686 | 37,095 |
| 経常利益 | 323,477 | 538,885 | 1,472,097 |
| 特別利益 | — | 65,657 | 2,193 |
| 特別損失 | 87,537 | 279,860 | 11,350 |
| 税金等調整前当期純利益 | 235,940 | 324,681 | 1,462,940 |
| 法人税、住民税および事業税 | 108,000 | 18,800 | 598,000 |
| 法人税等還付税額 | △ 2,225 | — | — |
| 法人税等調整額 | △ 14,921 | 182,590 | 12,003 |
| 当期純利益 | 145,087 | 123,290 | 852,937 |

連結株主資本等変動計算書

NIKKATO

(単位：千円未満切り捨て)

| 第140期 (平成21年4月1日から平成22年3月31日まで) | 株主資本 | | | | | 評価・換算 差額等 | 純資産合計 |
|------------------------------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|------------------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 | その他有価証券 評価差額金 | |
| 前連結会計年度末残高 | 1,320,740 | 1,221,859 | 5,237,026 | △ 91,296 | 7,688,330 | △ 113,576 | 7,574,753 |
| 当連結会計年度変動額 | | | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △ 178,878 | | △ 178,878 | | △ 178,878 |
| 当期純利益 | | | 145,087 | | 145,087 | | 145,087 |
| 自己株式の取得 | | | | △ 245 | △ 245 | | △ 245 |
| 株主資本以外の項目の 当連結会計年度変動額 | | | | | | 16,160 | 16,160 |
| 当連結会計年度変動額合計 | | | △ 33,790 | △ 245 | △ 34,036 | 16,160 | △ 17,875 |
| 当連結会計年度末残高 | 1,320,740 | 1,221,859 | 5,203,235 | △ 91,541 | 7,654,293 | △ 97,415 | 7,556,878 |

連結貸借対照表・連結損益計算書に対する注記

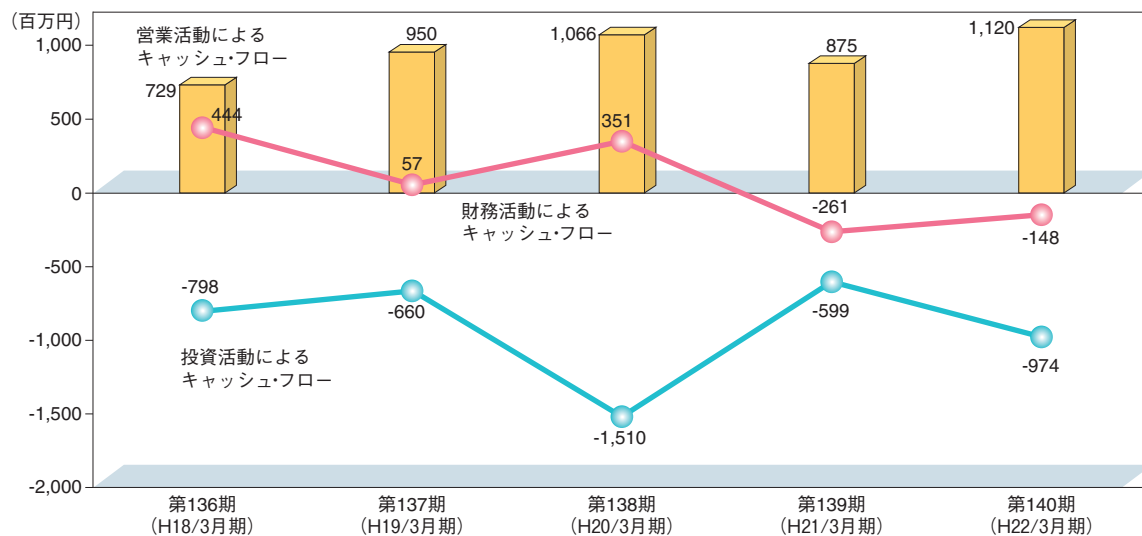
| | 第140期 | 第139期 | 第138期 |
|------------------|-------------|-------------|-------------|
| 1. 有形固定資産減価償却累計額 | 6,627,670千円 | 6,216,267千円 | 5,881,013千円 |
| 2. 担保に供している資産 | | | |
| 建物、土地 | 1,057,269千円 | 1,126,311千円 | 1,205,003千円 |
| 投資有価証券 | 40,410千円 | 18,465千円 | 34,876千円 |
| 3. 1株当たり当期純利益 | 12円17銭 | 10円29銭 | 72円44銭 |

キャッシュ・フロー

当期の営業活動によるキャッシュ・フローは、減価償却費と法人税の還付によるプラスが大きく、1,120百万円のプラスとなりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、主に東山工場における建屋建設や大型機械設備投資に伴う有形固定資産の取得で974百万円のマイナスとなりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払いや長期借入金の返済を長期借入金200百万円の調達で賄いましたものの、148百万円のマイナスとなりました。



(注) 当社は第139期より連結計算書類を作成しております。第138期までは単体業績の数値を掲載しております。

〈堺工場 コンクリート製煙突撤去〉

昭和13年、堺工場が現在地の遠里小野町に建設された当時から設備され、70年余りの長きに亘り、風雨に耐えニッカトーを見守っておりましたコンクリート製煙突でありましたが、老朽化が進んだため、残念ではありますが撤去することといたしました。

当煙突は、イギリス人技師の手によって設計され、工場北側に流れる大和川に排煙を吸収させるべく意図されたもので、120数尺（約40m）の高さを誇っておりました。先の大戦の戦火にも奇跡的に逃れ、当社の発展と共に生産の主要な役割を果たしてまいりましたが、数年前高温焼成炉用煙突として、最後の任を終え、その後は、我社のシンボルの一つとして維持保存されておりました。

現在では技術が進み、このような大きな煙突は不要となっておりますが、我々は先人達の技術を受け継ぎ、より良い製品の供給を行ってまいり所存でございます。



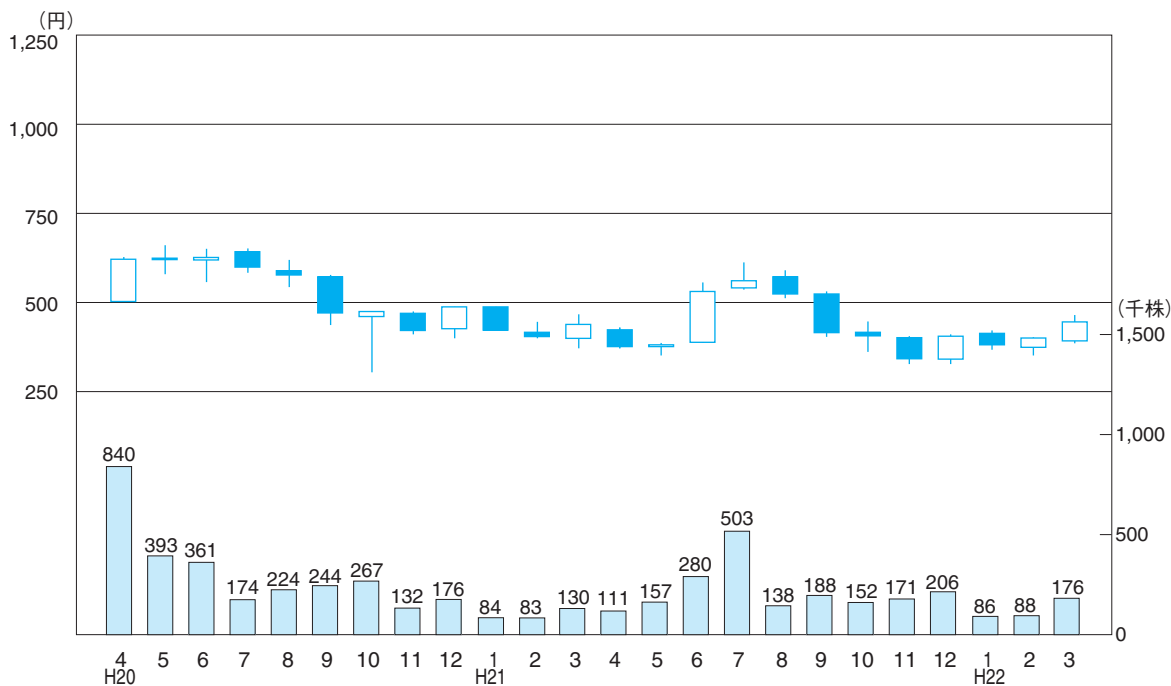
株式の状況 (平成22年 3月31日現在)

● 発行可能株式総数
37,280,000株

● 発行済株式総数
11,924,793株
(自己株式210,902株を除く。)

● 株主数
2,632名

● 株価・株式売買高



● 大株主

| 株主名 | 持株数(千株) | 議決権比率(%) |
|----------------------|---------|----------|
| 東ソー株式会社 | 599 | 5.0 |
| 株式会社みずほ銀行 | 499 | 4.2 |
| 株式会社チノー | 477 | 4.0 |
| ニッカトー取引先持株会 | 475 | 4.0 |
| ニッカトー従業員持株会 | 402 | 3.4 |
| 株式会社共和電業 | 400 | 3.4 |
| 朝日生命保険相互会社 | 353 | 3.0 |
| 西村明 | 248 | 2.1 |
| 株式会社クボタ | 200 | 1.7 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 | 179 | 1.5 |

(注) 当社は自己株式210,902株を保有しております。

会社の概要 (平成22年4月1日現在)

NIKKATO

- 創 業 大正2年6月
- 資 本 金 13億2,074万円
- 事業の内容 セラミックスおよび計測機器・加熱装置の製造・販売
- 事業所
本 社 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3641
東 京 支 社 〒112-0012 東京都文京区大塚5丁目7番12号(NKビル新大塚) ☎(03)5978-3500
セラミックス営業本部 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-4681
名古屋営業所 〒465-0092 愛知県名古屋市名東区社台3-247(第3名昭ビル) ☎(052)777-9091
水戸営業所 〒310-0801 茨城県水戸市桜川1丁目5番3号(岩上ビル) ☎(029)224-7512
九州営業所 〒810-0062 福岡県福岡市中央区荒戸2丁目4番21号(ワカバビル) ☎(092)736-1285
堺 工 場 〒590-0001 大阪府堺市堺区遠里小野町3丁2番24号 ☎(072)238-3643
東 山 工 場 〒599-8247 大阪府堺市中区東山670番地 ☎(072)278-0385
- 子 会 社 関東電子計測株式会社 〒323-0822 栃木県小山市駅南町1-18-12 ☎(0285)27-2551

役 員 (平成22年6月25日現在)

| | | | | | | | | | | |
|-----------|-----|-----|-----|----|---------|-----|-----|-----|-----|---------|
| 代表 取締役 | 取締役 | 取締役 | 取締役 | 役員 | 西 村 隆 | 取締役 | 取締役 | 取締役 | 取締役 | 山 久 道 |
| 常務 | 取締役 | 取締役 | 取締役 | 役員 | 清 水 奉 明 | 取締役 | 取締役 | 取締役 | 取締役 | 大 西 宏 司 |
| 取 | 締 | 役 | 役 | 役 | 山 本 幸 雄 | 常 勤 | 監 査 | 役 | 役 | 上 野 末 夫 |
| 取 | 締 | 役 | 役 | 役 | 紀ノ岡 隆一郎 | ※監 | 査 | 役 | 役 | 小 林 淑 人 |
| 取 | 締 | 役 | 役 | 役 | 星 野 尹 | ※監 | 査 | 役 | 役 | 中 安 克 志 |

(注) ※印の監査役は、社外監査役であります。

会 計 監 査 人 清 稜 監 査 法 人

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
定時株主総会 6月
配当金受領 期末配当金 3月31日
株主確定日 中間配当金 9月30日
公告方法 電子公告とします。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
公告掲載URL (<http://www.nikkato.co.jp>)

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関 株式会社だいこう証券ビジネス

株主名簿管理人
事務取扱場所 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部

各種お問合せ
〔郵便物送付先〕 〒541-8583 大阪市中央区北浜二丁目4番6号
株式会社だいこう証券ビジネス 証券代行事務センター
〔株式事務に関するご照会〕 ☎ 0120-255-100 (通話料無料)
〔特別口座に関するご照会〕 ☎ 0120-351-465 (通話料無料)
※受付時間 9:00~17:00 (土、日、祝祭日、12月31日~1月3日を除く)
〔ホームページアドレス〕 <http://www.daiko-sb.co.jp/>

〈株式に関する各種お手続き〉

届出住所・姓名などの変更、配当金の振込先の指定または変更、単元未満株式の買取請求などにつきましては、口座開設されている証券会社（証券会社に口座開設されていない株主様は、上記の株式会社だいこう証券ビジネス）へお届出ください。

なお、未受領配当金（ゆうちょ銀行の払渡期間経過後）のお支払いにつきましては、上記の株主名簿管理人までお申出ください。

